

「みきゃん」のイラストを企業等でもご利用いただけます
■使用にあたっては申請が必要です。■営利目的に使用する場合は有償となります。
図広報広聴課 ☎089-912-2241 みきゃん 検索

東日本大震災の被災者支援のための
「えひめ愛媛の助け合い基金」への
寄附をお願いします!!

伊予銀行	愛媛県庁支店	普通	1680900
愛媛銀行	県庁支店	普通	5186132
愛媛県信連	愛媛県庁支店	普通	0001027

口座名はすべて「えひめ愛媛の助け合い基金」(エヒメエガオノタスクエイキキ)
保健福祉課 ☎089-912-2386 (この寄附金は、寄附金控除の対象となります)

節電にご協力をお願いします。

今冬、四国電力管内においては、皆さまの節電意識が定着してきたこととあわせて、安定した電力供給を確保できる見通しですが、火力発電所等のトラブルが発生した場合、安定供給ができない可能性もあるため、引き続き、無理のない範囲での節電をお願いします。

節電期間: ~3/29(金)までの平日 9:00~21:00

ご家庭でできる節電と効果事例

エアコンの設定温度を2℃下げた場合(目安は20℃)	-7%
エアコン使用時に厚手のカーテンで冷気を遮断した場合	-1%
不要な照明をできるだけ消した場合は	-4%

※家庭の夕方ピーク時の消費電力(1,400W)に対する節電効果

図産業界政策課 ☎089-912-2477 節電のお願い 愛媛県 検索

あなたも参加しませんか?
愛媛の自然を守り隊!!

「100年先も生きものみんなやさしい愛媛」
~伝えていこう! 生きものの恵みと愛媛の暮らし~

愛媛県では2011年12月、今後の「生物多様性」保全のための基本計画となる「生物多様性えひめ戦略」を策定しました。生物多様性の恵みを受取り、山、海、川、里と多様な自然環境と文化が守り育まれる社会の実現を目指します。

生物多様性とは
地域には固有の自然があり、それぞれに特有の生きものがいて、それぞれがつながり、現在の地球環境を支えています。こうした生きものの「個性」と「つながり」のことをいいます。

生物多様性の3つのタイプ

- 生態系の多様性...干潟、森林、湿原、河川、あるいは里地、里山などの自然環境
- 種の多様性...いろいろな生きものの種が存在している状態
- 遺伝子の多様性...同じ種でも遺伝子の違いによって形や性質、行動などの特徴が異なること

3つのタイプをバランスよく守ることが大切!

愛媛の風景をみんなで守ってほしいんよ

愛媛県イメージアップキャラクター みきゃん

いま、愛媛県では自然保護にどう取り組んでいるのかな? みきゃんと一緒に探検しながら見てみよう!

仲間が少なくなって淋しいね

お嬢がベコベコ...

ペットだった動物が野生化すると大変なことになるんよ。ほやけん、最後まで飼わないかんよ!

田畑を荒らしたり、在来種を絶滅させたりすることがあるけん

自然のことなら何でも知っとるけん、聞いてや~

自然も人も愛媛の大切な財産! みんなが愛媛でいられる社会をつくりましょう!!

子どもたちの未来まで、かけがえのない生物多様性を守っていきけん!

多様な生きものを守るため、生息・生育地の生態系を保全・再生し、管理することを目指します!

人々の暮らしや農林水産業、企業活動等においても生物多様性の保全に配慮することを目指します!

特定希少野生動物植物保護区一覧 ※2009年3月6日指定

台地区(今治市) ナゴヤダルマガエル保護区
片上地区(今治市) カスミサンショウウオ保護区
織田ヶ浜(今治市) ハマビシ保護区
織田ヶ浜(今治市) ウンラン保護区
内子地区(西条市) ハッチョウトンボ保護区
宅間地区(今治市) カスミサンショウウオ保護区
コマドリ ナゴヤダルマガエル
そうだね
最近見たって聞いたよ!
昔の海や川に戻ったらもっと顔を出してもいいんだかね
ニホンカワウソ
見ない顔だねどこから来たの?
ヘラクレスオオカブト
マンションで飼われていたんだけど...
ミシシビアカミミガメ

詳細はホームページをご覧ください。▶▶▶ 生物多様性えひめ 検索

地域住民・NPO・専門家・行政等、多様な人々が連携・協働し、生物多様性を保全することを目指します!

◀今治市宅間地区保護区清掃ボランティアの皆さん

「生物多様性センター」を設置HPでは愛媛の生きものの情報を発信!

2012年4月、県立衛生環境研究所内に「生物多様性センター」を設置しました。生物多様性保全に関する調査・研究を行う機関で情報の収集・分析・公表、普及啓発、NPO等の支援などを行っています。
<http://www.pref.ehime.jp/h25115/biodiversity/>
生物多様性センター 愛媛 検索

センターはどんな活動をしているのかな

自然保護課
左から
しげかわ みつまさ
重川 光正
すみだ まみこ
隅田 貴美子
やまなか みゆき
山中 美幸

WORKSHOP

まずは知ることから 「内なる生物多様性」を発掘・発見
「いよココロザシ大学」を開講

NPO法人いよココロザシ大学が、自然保護課による委託事業として「WONDER EHIME (ワンダーエヒメ) プロジェクト」を推進しています。人も生物の一種、自然の一部として、「自然と暮らし」とのつながりを感じる授業(ワークショップ)を通じ、動物や植物、山、川、森など自然の雄大さ、自然から授かった知恵や知識、文化などの価値を共有。2011年6月の開校以来、いよココロザシ大学には900名以上の県民が学生登録し、100種類以上の授業に2,200人以上が参加しました。授業は「授業コーディネーター」と呼ばれる県民が実施しています。

参加しよう

誰でも先生、誰でも生徒、どこでもキャンパス

過去にこんな授業を行いました!

- あ〜おもしろい! 虫の声〜秋の虫の聞き分け講座〜
- 探検! ピオトープ
- ジビエ・シルブプレ!〜イノシシ編〜
- 森で作る幸せいっぱいリース
- 地元食材で作る愛LOVEビザパーティー!
- 森からのおくりもの ほか多敷

授業はこれからも100回以上を夏までに開講予定。どなたでも参加できますので、お気軽にお申し込みください!

授業へのお申し込み・詳細・お問い合わせ
NPO法人いよココロザシ大学 <http://www.1455634.jp>